

餅搗き

大森駅前住宅自治会より

師走の十四日、朝から生憎の雨。午前八時、実行委員の男女が夫々に動き始めました。前日より百kgの餅米を洗い浸して杵や臼の準備も万端整っていました。雨が雨の為、搗くのは一号棟の駐車場、蒸す場所をパーゴラの下で砂場と変更。九時半にはお汁粉も餅も出来上がり、住民もお椀を持って長蛇の列でお汁粉や黄名粉餅を頂きました。搗く方も手水や手返しをする人もベテランの人達で若い人に教えながら世代交替で勢い良く地揺れがする程でした。

十時半よりサンタクロースの衣装を着て長靴のサンタが袋詰めのお菓子を配り、短時間で完配。子供が少なくな

りました。孫等で賑わいました。敬老席も雨の為、二号棟の集会室に変更。お汁粉やお新香、お茶で和やかに談笑して楽しいひとときでした。お手伝い下さった方達の慰労会も和やかに和気あいあいとお昼過ぎまで談笑しました。

一年に一度のこの大きな行事、慣れた人達が新しい世代の方に教えながら、住民同士の親睦と交流で平成二十年も幕を閉じました。キメの細かいお餅と美味しいお汁粉は皆に喜ばれました。

「餅を搗く若人大地揺るがせり」



わが町の新年は

『獅子舞』から

大井南浜町会より



毎年一月二日朝から賑やかな囃子に合わせ、獅子舞が家内安全、無病息災、厄除けを願い、町内の家々を廻ることからわが南浜町会の新年は始まります。

この行事は今から約四十年前に南浜睦会会員の家々を廻ることから始まりました。年々獅子舞に来て欲しいという希望者が増え、二チームに

分かれて町内を廻る程になりました。

今年も穏やかな晴天に恵まれた一月二日午前九時、竹内稔浩睦会会長を先頭に、南北二チーム、総勢二十五名の獅子舞一行が軽快な囃子に乗って威勢よく町内に繰り出し、百三十軒ほど廻りました。

「南浜睦会」は平成二十年度地域貢献団体として品川区より表彰を受け、町会の様々な活動にも欠かせない重要な役割を担っています。

「伝統ある獅子舞が町会員の皆さんの一年の幸せを願う、大変喜んでいただいている。今年も皆さんの御協力の下、色々な活動を通して町会員の更なる連携を深め、楽しい町会にしていきたい。」と藤平常咄会長は新年の抱負を語っておられました。